

エシカルポイント付与システムの導入 ～DX×エシカル消費で八王子市を環境先進都市へ～

Introduction of ethical point system
～Transforming Hachioji into an environmentally advanced city through digital transformation
and ethical consumption～

チーム はちカル
市川正和, 織田幸奈, 木村和伸, 中山由美, 森友希
指導教員 中山雅司
創価大学法学部法律学科 中山ゼミナール

本稿では八王子市の DX とエシカル消費を促進し、環境先進都市としての八王子市のプロモーションを図るため、既存の八王子市デジタル地域通貨である桑都ペイと連携したエシカルポイント付与システムの導入を提案する。

キーワード:DX, エシカル消費, 環境先進都市, ポイント付与, 桑都ペイ

1.はじめに

近年エシカル消費が国際的に注目されている。エシカル消費とは、地域の活性化や雇用などを含む人・社会・地域・環境に配慮した消費行動を指す(消費者庁 n.d.)。八王子市についても、エシカル消費を実践できる消費環境の整備に取り組んでいる(八王子市 2024)。しかし 2022 年に八王子市が市内在住の 18 歳以上の個人を対象に行った調査によると、「エシカル消費を知っていますか」という質問に対し、市民の約 70%が知らないと回答しているという(八王子市 2022)。このことから、未だ市民の間でエシカル消費に対する認知が進んでいないことが分かる。八王子市が過去に行った環境配慮行動の促進を目的としたはちエコポイント制度も、認知度の低さや仕様の古さにより利用者数が伸び悩み、運用を一時停止した。そこから、八王子市の施策をより活性化させるためには DX の推進がカギとなると考察する。

そこで、エシカル消費と DX を融合することで、上記の八王子市の課題を解決し、「八王子未来デザイン 2040」にあるエシカル消費と DX の推進という目標達成に貢献できると考える。これを実現するために、私たちは桑都ペイと連携したエシカルポイント付与システムの導入を提案する。

2.現状分析と課題

(1)八王子市の DX

「八王子未来デザイン 2040」にて、八王子市が掲げる変革キーワードに『DX』による地域共生社会の実現が挙げられている。はちエコポイント制度を運用しているクールセンター八王子によると、桑

都ペイとの連携を視野に制度の見直しを行っているという。また、八王子市環境部環境政策課に問い合わせたところ、はちエコポイント制度が終了した要因が判明した。この制度は、会員にポイントカードと番号が割り当てられ、講座などに参加することでポイントが付与され HP で確認できる。しかし、ポイントと商品の交換は年末に行うため、使える場所と期間が限られていた。結果として会員は高齢者が多く、利用者数に伸び悩んでいたため、若者も利用できるようデジタル化することで改善していきたいと語っていた。

(2)八王子市のエシカル消費活動

「八王子未来デザイン 2040」にて、新たな価値の創出に向けた暮らしの中でのエコアクション促進のための一案として、「エシカル消費の普及促進」が記載されている(八王子市 2023)。

八王子市民のエシカル消費の実態を調査するため、八日町にある「まちの駅八王子 CHITOSEYA」に対し取材を行った。この店舗は、エシカル消費の普及促進をメインに取り組んでいる。現状として八王子市の若者はエシカル消費への関心が低く、客層の多くは 50 歳以上が占めている。取材の中でお店の方は若者にもっと立ち寄ってほしいと語っており、若年層にもエシカル消費への関心を広げるため以下の提案をする。

3.提案内容

これらの現状を踏まえ、我々は「桑都ペイと連携したエシカルポイント付与システムの導入」を提案する。本提案は、八王子市のエシカル商品の生産

と消費を促進することを目的とする。エシカルポイント付与システムとは、既存の八王子市デジタル地域通貨である桑都ペイと連携し、八王子独自の認定基準を満たしたエシカル商品にエシカルポイントを付与する仕組みである。エシカル商品の購入を通じて、購入者にエシカルポイントが付与される。八王子市総合経営部経営計画課に問い合わせたところ、当ポイント付与システムの導入は実現可能であることがわかった。

八王子市においてエシカルポイント付与システムを実現する上で着目したのが、桑都ペイ、およびはちエコポイント制度である。これらは八王子市が独自で地域活性化のために行っていた事業であるが、先述したように、現在は見直しのためサービスを終了している。そこで、これらサービスとエシカルポイントシステムを連携しリニューアルさせることでさらなる地域活性化への効果が期待出来る。

八王子市は都内最大級の農業生産力を持ち、野菜においては都内で一番の収穫量を誇る(東京都産業労働局農林水産部 2024)。また、八王子市には地元農家の販路拡大を目的とした都内唯一の「道の駅」があり、八王子市ならではの強みである豊富な農産物を活かした地産地消に取り組んでいる(タウンニュース 2017)。これらの八王子市の強みは、地産地消等のエシカル消費を促進する上で大いに発揮されると考えられる。

4.提案によってもたらされる効果

以上の提案を実施することで、主に 3 つの効果が見込まれる。

(1) 八王子市における地域経済の活性化につながる。本提案は、八王子市を拠点とする事業者が販売する商品や八王子市内で生産された商品を対象としており、市民が同エシカルポイント付与システムを利用することで八王子市における消費を促進できる。これは地域経済の活性化という点で、対象となる事業者だけでなく八王子市自体に対してもメリットを生むことになる。地域経済の発展は、八王子市のまちづくりを支え、市民に対しより豊かな暮らしを提供することにつながる。

(2) 八王子市の DX を促進する。八王子市は「八王子未来デザイン 2040」の中で、地域経営の変革に向け「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」を変革のキーワードとして定めており、DX により新たな価値の創出と生活の質を高めることを目指している(八王子市 2023)。本提案は、桑都ペイのアプリケーションを活用することを想定しており、従来の桑都ペイの事業に加え、新たにエシカルポイント付与システムを導入することで新規利用者の増加

が見込まれ、八王子市の DX がこれまで以上に進むことが期待される。DX が進めば、将来的に八王子市をデジタル先進都市として国内外にアピールすることもできる。

(3) 市民の環境配慮行動を推進する。八王子市は「八王子未来デザイン 2040」の中で、施策の一つとして環境を守り育む人づくりを提示しており、新たな価値の創出に向けた取り組み例として、デジタル技術を活用した環境配慮行動の啓発を挙げている(八王子市 2023)。本提案の軸であるエシカル消費は、自然環境に及ぼす悪影響を可能な限り減らすことのできる消費行動であり、エシカルポイント付与システムの普及は環境配慮行動の啓発につながる。よって本提案は、八王子市の目指す環境を守り育む人づくりに寄与する。

5.おわりに

現在、エシカル消費は社会的課題の解決に向けて市民ができる賢い選択として、八王子市のみならず、国内外で注目されている。しかし、八王子市ではエシカル消費は認知度が低く、市民の生活に根づいていないのが現状である。そこで上記の提案により、これらの課題を解決できると考える。これによって、八王子市における SDGs12「つくる責任、つかう責任」の達成に貢献し、環境先進都市としてのシティプロモーションをすることができる。エシカル消費を通じて、八王子市で市民が主役のまちづくりを実現する。

6.参考文献

- 消費者庁(n.d.)「エシカル消費特設サイト」
<https://www.ethical.caa.go.jp/ethical-consumption.html>
- タウンニュース(2017)「道の駅『滝山』が 10 周年」
<https://www.townnews.co.jp/0305/2017/04/06/376929.html>
- 東京都産業労働局農林水産部(2024)「東京都農作物生産状況調査結果報告書(令和4年産)」
https://tokyogrown.jp/learning/library/img/agriculture_report_2022.pdf
- 八王子市(2022)「消費生活に関する市民意識・実態調査 報告書」
https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/life/005/001/009/p027488_d/fl/R4_chousakettka.pdf
- 八王子市(2023)「八王子未来デザイン 2040」
<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisei/001/001/005/001/p031827.html>